

令和7年度第8回香川県埋蔵文化財センター考古学講座

「ナワメスジ伝承に見る讃岐の道路史～GISの視点から」

を開催します。

今回の考古学講座では、地理情報システム(Geographic Information System、以下 GIS と略)という手法で「ナワメスジ」という民俗的な事象を読み解きます。GISは、コンピュータを用いて位置情報を持つ地形や道路などの地図情報に、関連するデータを重ね合わせて分析するシステムで、遺跡の立地や眺望、関係性などを分析するために使われています。

タイトルにある「ナワメスジ(縄目筋)」とは、そこを通ると病気になったり、妖怪が通るとされる道のことを指し、ナワメスジ以外にも様々な名前と呼ばれています。県内のナワメスジ(とその仲間)について、GISという新しい視点を通じて見えてくるものは何か、解説します。



写真1 三豊市志々島の
ケモノスジ (ナワメスジの仲間)



写真2 同、妖怪小坊主が出没したとされる
三叉路

- 1 日 時 令和8年3月21日(土曜日) 10時00分～11時30分
- 2 会 場 香川県埋蔵文化財センター講習室(坂出市府中町南谷 5001-4)
- 3 講 師 阿部 誠悟(香川県埋蔵文化財センター 技師)
- 4 聴 講 料 無料
- 5 定 員 40名(申込先着順)
- 6 申込方法 電話・メールで3月20日(金曜日)までにお申し込みください。
メールの場合はお名前、連絡先の記入をお願いします。
電話 0877-48-2191(平日8時30分から17時15分)
メール maibun@pref.kagawa.lg.jp